

第1部 計画策定の意義と計画の性格

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

第1章 四国圏を取り巻く状況

1-1. 社会の潮流

- ①急激な人口減少・少子化、そして異次元の高齢化の進展
- ②巨大災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大
- ③高度な産業技術化・ICTの劇的な進歩など技術革新の進展
- ④産業・雇用構造の変化と地域間競争の激化
- ⑤広域交流の拡大・グローバル化の進展
- ⑥価値観・ライフスタイルの多様化と心の豊かさの重視
- ⑦「新たな公」の役割の重視

1-2. 四国圏の特徴

【強み】

- ①美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在
- ②多様な地域の存在と相互の地理的な近さ・交流の可能性
- ③確かな力ある産業の存在
- ④個性のある一次産業、食等の存在
- ⑤人材育成活動の活発化
- ⑥豊かな暮らしを支える環境

【弱み】

- ⑦厳しい地勢・予測される巨大地震や近年の気候変動による自然災害のリスク
- ⑧産業集積・企業集積の不十分さ、物流コストが高い、中小企業のウエイトが高い
- ⑨社会経済面・生活利便性面の格差
- ⑩不十分なインフラの整備と既存インフラの老朽化
- ⑪四国圏内外との連携・交流の弱さ
- ⑫人口減少・少子化・高齢化の進展による国土の荒廃、特に中山間地域の衰退

1-3. 四国圏の課題

■安定した社会を支える安全・安心な四国圏の創出

・南海トラフ地震により想定される甚大な被害や、近年増加している豪雨・台風・渇水などの自然災害の被害から、生命や財産を守り、安全・安心が確保された、災害に強い四国圏をつくる

①南海トラフ地震に対する安全・安心の確保

- ・30年以内に発生確率70%程度と予測される南海トラフ地震への対応
- ・高速道路網のミッシングリンクのために、発災時の孤立化が懸念される地域の解消
- ・切迫する巨大地震への防災・減災対策を行うための災害リスクの評価、重点化
- ・復興を支援する地震に強い高速鉄道網の整備の遅れの解消

②近年の気候変動により激甚化する自然災害への備え

- ・全国より高い被害総額であり多発する自然災害への対応
- ・全国より低い「災害からの安全性」の満足度(64%)の向上
- ・被災時の迅速な情報把握
- ・全国同様、地球規模の深刻な環境問題への対応
- ・渇水の危険性への対応

③一気に老朽化を迎える社会インフラの維持・管理・更新

- ・高度成長期以降に集中整備したインフラの深刻な老朽化への対策
- ・インフラの効率的・効果的な維持管理
- ・既存ストックを最大限に活用するために賢く使う工夫

■自立的・持続的発展に向けた四国圏の地方創生

・急激に進展する人口減少・少子化・高齢化のなかで、人々が生きいきと暮らし、誰もが住みたいと思える魅力ある地域づくりを進め、豊富な地域資源や民間の活力を活かして地域の魅力を磨き、国内外との交流・対流を促進することで、四国圏の持続的な発展を実現する

④少子化対策の抜本強化及び女性・若者・高齢者の社会参画

- ・人口減少・少子化・高齢化の急激な進行への対応
- ・地域の実情に合った強力かつ総合的な少子化対策の推進
- ・女性の社会参画に欠かせない、仕事と子育てが両立できる環境の整備
- ・若者が働くことができる地域の雇用の場の確保
- ・健康寿命が伸び、元気な高齢者のための活躍の場の確保
- ・増え続ける年間医療費の低減

⑥魅力ある地域づくり

- ・中山間地域、半島及び島しょ部におけるICTを活用した遠隔医療、遠隔教育等、「未来型小さな拠点」の実現
- ・人口減少、厳しい財政状況等の制約の下、地方を維持するための「コンパクト+ネットワーク」の地域構造の実現
- ・地方部から大都市や首都圏への人口流出の歯止め
- ・多数の消滅の恐れのある集落への対応
- ・地域間格差を生んでいる高規格道路網や高速鉄道網などの整備の遅れの解消
- ・全国よりも低い居住地の「医療・福祉」への満足度(64%)、「地域コミュニティ」への満足度(70%)の向上

⑤地域産業の活性化

- ・産業活性化に向けた基盤の充実
- ・産業競争力の確保に向けたICTによる生産システムの効率化
- ・6次産業化等、1次産業の活性はみられるものの横ばいの食料自給率の改善
- ・2次産業の空洞化からの回帰
- ・耕作放棄地の増加や、耕地利用率の減少への対応
- ・国産材需要への対応と森林資源の持続的循環利用への取り組み
- ・農林水産業における担い手の不足の解消
- ・後継者難などによる休廃業・解散の増加
- ・雇用構造の変化、依然厳しい雇用情勢に向けた取り組み
- ・38%と低い居住地の「労働環境・雇用機会」の満足度の向上
- ・野生鳥獣による農林水産業被害の軽減

⑦四国圏の魅力・豊富な地域資源を活かした観光活性化

- ・お遍路文化や歴史文化遺産の活用促進
- ・アジアの活力を取り込むための滞在人口の拡大
- ・外国人観光客は増加傾向にあるものの未だ低い四国圏の認知度、低い全国シェア向上

⑧圏域内外との交流を促進し対流を促す結びつきの強化

- ・弱い圏域内外との連携や交流の強化
- ・日本海側と瀬戸内海側と太平洋側の連携の強化
- ・全国よりも低い「交通利便性」の満足度(51%)の向上
- ・対流基盤となる高速道路網整備の遅れの解消

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

第2章 四国圏の将来像

2-1. 基本方針

キャッチフレーズ・・・
 （現行計画）癒やしと輝く産業・ひとを育てる四国の創造

（基本方針の具体的な考え方）

- ・四国圏は瀬戸内海や太平洋といった美しい海に四方を囲まれ、また、緑豊かな山々や美しい清流を有するなど、素晴らしい自然環境に恵まれておりその恩恵の享受。
- ・中山間地域、半島部、島しょ部では「小さな拠点」の形成などによる地域の維持・活性化の推進。
- ・圏域全体では、南海トラフ地震等の大規模自然災害に備え、安全・安心を確保し生命・財産を守る粘り強くしなやかな地域づくりの推進。
- ・地域資源の活用や地場産業の活性化による働く場の創出や、子育て環境の充実などにより、若者、女性が活躍し、高齢者の社会参画が盛んな、豊かなふるさとの形成。
- ・圏域に暮らす全ての人々が、四国に住み続けたいと思い、また、圏域の外に暮らす人々が行ってみたい、住んでみたいと思える地域の実現。



これらの取組みを通じて、多様な地域の個性を発揮しつつ、四国圏としての一体的・自立的発展を目指す

2-2. 四国圏の発展に向けた目標

<p>①南海トラフ地震への対応力の強化など、安全で安心して暮らせる四国</p>	<p>②若者が増え、女性・高齢者が生き活きと活躍する四国</p>	<p>③地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国</p>	<p>④中山間地域・半島部・島しょ部や都市が補完しあい活力あふれる四国</p>	<p>⑤歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国</p>
<p>～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～</p>	<p>～多様な人材が能力を発揮できる社会を実現～</p>	<p>～グローバル化を生き抜く産業群の形成～</p>	<p>～農山漁村と都市の共生～</p>	<p>～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～</p>
<p>1) 南海トラフ地震に対する安心・安全を確保する</p>	<p>1) 仕事と子育てを両立できる環境を整備し女性の社会参画を促進する</p>	<p>1) 地域資源や技術を活かし、アジアを始め世界に通用する産業競争力を強化する</p>	<p>1) ICTで農山漁村の生活環境を整備大都市から人を呼び活性化させる</p>	<p>1) 美しい風土と地域資源を活かし地域の魅力を高め、国内外に向けて発信する</p>
<p>2) 豪雨・台風・渇水等の自然災害に備えるとともに、地球環境との調和を高める</p>	<p>2) 若者の雇用の場を確保し、地域企業への就職・定着を図る</p>	<p>2) 技術力や特産品を国内外へ売り込み、新たな市場を切り拓く</p>	<p>2) 個性ある地域をネットワークで連携し『コンパクト+ネットワーク』を実現する</p>	<p>2) 歴史・文化的資源、美しい自然、ふるさとの風景を継承し、地域の独自性を発揮する</p>
<p>3) 地域の暮らしを支えるインフラの老朽化対策を推進する</p>	<p>3) 元気な高齢者が知識・経験・技術を活かし、社会参画を促進する</p>	<p>3) 産業の成長力を支える人材を育成・確保する</p>	<p>3) 農山漁村の基幹産業の強化を図り雇用を創出する</p>	<p>3) 圏域内外、アジアなど国外との交流推進により観光を活性化させる</p>
<p>4) 地域の暮らしの快適性を高める</p>		<p>4) 物流基盤機能強化のためのインフラ整備を促進する</p>		

第3部 四国圏の発展に向けた取組

<p>①南海トラフ地震への対応力の強化など、安全で安心して暮らせる四国 ～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～</p>	<p>②若者が増え、女性・高齢者が生き活きと活躍する四国 ～多様な人材が能力を発揮できる社会を実現～</p>	<p>③地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国 ～グローバル化を生き抜く産業群の形成～</p>	<p>④中山間地域・半島部・島しょ部や都市が補完しあい活力あふれる四国 ～農山漁村と都市の共生～</p>	<p>⑤歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国 ～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～</p>
<p>(1) 南海トラフ地震に対する安心・安全を確保する</p>	<p>(1) 仕事と子育てを両立できる環境を整備し女性の社会参画を促進する</p>	<p>(1) 地域資源や技術を活かし、アジアを始め世界に通用する産業競争力を強化する</p>	<p>(1) ICTで農山漁村の生活環境を整備、大都市から人を呼び活性化する</p>	<p>(1) 美しい風土と地域資源を活かし地域の魅力を高め、国内外に向けて発信する</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震等大規模災害発生時における被害の抑制と迅速な復旧 ・災害時の交通・情報通信ネットワーク強化 ・減災に向けた地域との相互連携と住民一人一人の防災に対する意識の向上 ・広域的な応援体制の構築 ・事前防災・減災対策に向けたインフラ整備を推進 ・早期復興にも寄与する最新の免震・制震技術を結集した高速鉄道網の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育ての両立できる環境を整備 ・女性が働きやすい環境を整備することで、女性の社会参画を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな競争にも勝ち抜ける力強いものづくり産業を再興 ・四国圏の持続的な成長の糧となる新たな産業の創出や起業・創業等を促進 ・産学官連携等によりイノベーションを促進 ・競争力を高め、職業として魅力を感じる農林水産業を確立 ・四国産品や観光資源を多くの人々を惹きつけるものに磨き上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用することで、農山漁村の生活環境の整備を推進 ・安心して暮らしやすい農山漁村の形成（日常生活の利便性向上） ・大都市から人を呼びよせることで、農山漁村の活性化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・一次産品を用いた四国ブランドの育成など、地域資源の魅力を向上 ・地域の魅力を積極的に国内外へ発信
<p>(2) 豪雨・台風・渇水等の自然災害に備えるとともに、地球環境との調和を高める</p>	<p>(2) 若者の雇用の場を確保し、地域企業への就職・定着を図る</p>	<p>(2) 技術力や特産品を国内外へ売り込み、新たな市場を切り拓く</p>	<p>(2) 個性ある地域をネットワークで連携し『コンパクト+ネットワーク』を実現する</p>	<p>(2) 歴史・文化的資源、美しい自然、ふるさとの風景を継承し地域の独自性を発揮する</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い森林づくりを通じて「緑の国土強靱化」を推進する ・失われつつある自然との共生 ・森林、農地、河川流域の適切な整備・保全と水資源を確保 ・人間活動と自然のプロセスが調和した物質循環の構築 ・自然と地球にやさしい環境保全活動・環境教育の推進 ・事前防災・減災対策に向けたインフラ整備の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とハローワークの連携による雇用のミスマッチ解消 ・学生と中小企業を有効に結びつけるための就職支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの高い技術力等を国内・海外に売り込む ・多くの人々を惹きつける四国産品や観光資源を国内・海外に売り込む ・成長著しい海外の活力を積極的に取り込む 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間をネットワークで結び、都市間の連携を図る ・コンパクト+ネットワークで拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現 ・基幹集落に暮らしの安心を支える複数の生活サービスや地域活動の場を集めた「小さな拠点」を核とし、中山間地域の維持・活性化を図るための仕組みづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・四国独自の文化を保全・継承するための人材育成 ・美しい自然を舞台とした地域独自の風景づくり
<p>(3) 地域の暮らしを支えるインフラの老朽化対策の推進</p>	<p>(3) 元気な高齢者が知識・経験・技術を活かし、社会参画を促進する</p>	<p>(3) 産業の成長力を支える人材を育成・確保する</p>	<p>(3) 農山漁村の基幹産業の強化を図り、雇用を創出する</p>	<p>(3) 圏域内外、アジアなど国外との交流推進により観光を活性化</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁、トンネルが安全利用できるよう、計画的な定期点検で状態を把握 ・早期の損傷発見、補修の実施により、安全で安心な道路サービスを提供 ・ライフサイクルコストの縮減 ・技術力向上を目的とした橋梁保全研修・セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者の知識、経験、技術を活かす ・高齢者の社会参画を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの場を創り出し、四国圏の産業の成長を支える多様な人材を育成 ・四国圏の活力となる人材を呼び込む ・多様な人材の活躍を促進 ・大学の充実強化を図り、産業人材の育成や産業競争力の強化などを促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村の基幹産業である農林水産業の強化 ・雇用を創出することで、農山漁村の活性化を図る ・公共建築物の木造化等による新たな木材需要の創出 ・需要者ニーズに対応した国産材の安定供給体制の構築 ・農林水産業に対する野生鳥獣被害対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各都市の魅力向上と相互連携の強化により圏域内の交流を促進 ・ネットワークの強化により、全国との交流を促進 ・国際ゲートウェイ機能の強化による国外との交流促進
<p>(4) 地域の暮らしの快適性を高める</p>		<p>(4) 物流基盤機能強化のためのインフラ整備の促進</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心で快適な生活環境づくり ・地域づくりの担い手の育成と多様な主体が参加できる仕組みづくり 		<ul style="list-style-type: none"> ・道路、鉄道、空港、港湾、情報通信基盤等の産業インフラ等の整備、利活用を促進 ・安心して事業活動を進め、競争力を強化していくうえでも欠かせない南海トラフ地震・津波に強いインフラの整備を推進 		

第4部 広域プロジェクト

<p>①南海トラフ地震をはじめとする大規模自然災害への「支国」防災力向上プロジェクト</p>	<p>②全国に先駆けて進行する人口減少への「子国」支援対策プロジェクト</p>	<p>③お遍路や四国八十八景を中心とした「視国」観光活性化プロジェクト</p>	<p>④ …</p>	<p>⑤ …</p>
<p>■安全・安心に暮らせる災害に強い圏域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震への対応力の強化により、安全で安心して暮らせる四国圏を実現する。 ・近年の気候変動により激甚化する自然災害に備え、災害による被害から生命や財産を守り、安全・安心を確保する。 <p>■地域の暮らしを支えるインフラの老朽化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加速するインフラ老朽化への対策としての予防保全の実施、戦略的メンテナンスによる安全確保を実現する。 	<p>■きめ細かな情報提供や相談対応などの移住支援策により、圏域外からの移住者を増加させ、地域や経済の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会に比べ住みやすく働きやすい環境に恵まれた四国圏の特色を大々的にPRし、移住希望者の候補地になることを目指す。 ・移住希望者への移住実現に向けた具体的な支援を積極的に行い、移住の定着化を目指す。 <p>■子育てのしやすい仕組みや、少子化・高齢化に合わせた仕組みを構築することで、魅力あふれる『住みたい四国』の形成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉等サービス体制の整備と子育て等の支援の充実による暮らしの快適性を高め、住みやすい、住みたくなる地域を目指す。 ・移住者定着に向けた働く場づくりによる地域資源となる人材の確保など、活力・魅力があふれる地域の形成を目指す。 	<p>■四国霊場八十八箇所と遍路文化を有する圏域の魅力と、「美しい風景」の魅力を国内外へ発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の中で培われてきた「遍路文化」を四国共通の文化・アイデンティティとし、国内外へ発信することで、四国圏への来訪者の増加を図る。 ・魅力ある「四国八十八景」の保全・創出を図り、四国圏への観光客増加と地域活性化の実現を図る。 <p>■4県連携による「自転車」を軸とした新たな魅力、美しい瀬戸内海を背景とした「芸術」の魅力を国内外へ発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国島内の周遊サイクリングルートの整備や、全国的な自転車イベントを呼び込むことで、国内外からのサイクリストを呼び込む。 ・瀬戸内の島々に点在する多様な歴史・文化遺産、美術館・博物館等の魅力を「芸術」を軸として高めることで、島々の活性化を図る。 	<p>■ …</p>	<p>■ …</p>
<p>①南海トラフ地震に対する安心・安全を確保</p>	<p>①人口減少対策としての移住促進</p>	<p>①遍路文化を核とした四国霊場八十八箇所の魅力発信</p>	<p>① …</p>	<p>① …</p>
<p>②豪雨・台風・濁水等の自然災害に備える</p>	<p>②子育て支援制度の充実</p>	<p>②「自転車」「芸術」を軸とした連携による魅力発信</p>	<p>② …</p>	<p>② …</p>
<p>③暮らしを支えるインフラ老朽化対策の推進</p>	<p>③少子化・高齢化への対応策の強化</p>	<p>③美しい風景で四国圏への来訪者を倍増</p>	<p>③ …</p>	<p>③ …</p>

第5部 計画の推進に向けて

四国圏 広域地方計画(見直し) 骨子(案)

第1部 計画策定の意義と計画の性格

- ・ 策定の意義
- ・ 計画期間
- ・ 計画の性格

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

第1章 四国圏を取り巻く状況

1-1. 社会の潮流

- ①急激な人口減少・少子化、そして異次元の高齢化の進展
- ②巨大災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大
- ③高度な産業技術化・ICTの劇的な進歩など技術革新の進展
- ④産業雇用構造の変化と地域間競争の激化
- ⑤広域交流の拡大・グローバル化の進展
- ⑥価値観・ライフスタイルの多様化と心の豊かさの重視
- ⑦「新たな公」の役割の重視

1-2. 四国圏の特徴

【強み】

- ①美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在
- ②多様な地域の存在と相互の地理的な近さ・交流の可能性
- ③確かな力のある産業の存在
- ④個性のある一次産業、食等の存在
- ⑤人材育成活動の活性化
- ⑥豊かな暮らしを支える環境

【弱み】

- ⑦厳しい地勢・予測される巨大地震や近年の気候変動による自然災害のリスク
- ⑧産業集積・企業集積の不十分さ、物流コストが高い、中小企業のウェイトが高い
- ⑨社会経済面・生活利便性面の格差
- ⑩不十分なインフラの整備と既存インフラの老朽化
- ⑪四国圏内外との連携・交流の弱さ
- ⑫人口減少・少子化・高齢化の進展による国土の荒廃、特に中山間地域の衰退

1-3. 四国圏の課題

■安定した社会を支える安全・安心な四国圏の創出

- ・南海トラフ地震により想定される甚大な被害や、近年増加している豪雨・台風・濁水などの自然災害の被害から、生命や財産を守り、安全・安心が確保された、災害に強い四国圏をつくる

①南海トラフ地震に対する安全・安心の確保

- ・30年以内に発生確率70%程度と予測される南海トラフ地震への対応
- ・高速道路網のミッシングリンクのために、発災時の孤立化が懸念される地域の解消
- ・切迫する巨大地震への防災・減災対策を行うための災害リスクの評価、重点化
- ・復興を支援する地震に強い高速鉄道網の整備の遅れの解消

②近年の気候変動により激甚化する自然災害への備え

- ・全国より高い被害総額であり、多発する自然災害への対応
- ・全国より低い「災害からの安全性」の満足度(64%)の向上
- ・被災時の迅速な情報把握
- ・全国同様、地球規模の深刻な環境問題への対応
- ・濁水の危険性への対応

③一気に老朽化を迎える社会インフラの維持・管理・更新

- ・高度成長期以降に集中整備したインフラの深刻な老朽化への対策
- ・インフラの効率的・効果的な維持管理
- ・既存ストックを最大限に活用するために賢く使う工夫

■自立的・持続的発展に向けた四国圏の地方創生

- ・急激に進展する人口減少・少子化・高齢化のなかで、人々が生きいきと暮らし、誰もが住みたいと思える魅力ある地域づくりを進め、豊富な地域資源や民間の活力を活かして地域の魅力を磨き、国内外との交流・対流を促進することで、四国圏の持続的な発展を実現する

④少子化対策の抜本強化及び女性・若者・高齢者の社会参画

- ・人口減少・少子化・高齢化の急激な進行への対応
- ・地域の実情に合った強力かつ総合的な少子化対策の推進
- ・女性の社会参画に欠かせない、仕事と子育てが両立できる環境の整備
- ・若者が働くことができる地域の雇用の場の確保
- ・健康寿命が伸び、元気な高齢者のための活躍の場の確保
- ・増え続ける年間医療費の低減

⑤地域産業の活性化

- ・産業活性化に向けた基盤の充実
- ・産業競争力の確保に向けたICTによる生産システムの効率化
- ・6次産業化等、1次産業の活性はみられるものの横ばいの食料自給率の改善
- ・2次産業の空洞化からの回帰
- ・耕作放棄地の増加や、耕地利用率の減少への対応
- ・国産材需要への対応と森林資源の持続的循環利用への取組み
- ・農林水産業における担い手の不足の解消
- ・後継者難などによる休廃業・解散の増加
- ・雇用構造の変化、依然厳しい雇用情勢に向けた取組み
- ・38%と低い居住地の「労働環境・雇用機会」の満足度の向上
- ・野生鳥獣による農林水産業被害の軽減

⑥魅力ある地域づくり

- ・中山間地域、半島及び島しょ部におけるICTを活用した遠隔医療、遠隔教育等、「未来型小さな拠点」の実現
- ・人口減少、厳しい財政状況等の制約の下、地方を維持するための「コンパクト+ネットワーク」の地域構造の実現
- ・地方部から大都市や首都圏への人口流出の歯止め
- ・多数の消滅の恐れのある集落への対応
- ・地域間格差を生んでいる高規格道路網や高速鉄道網などの整備の遅れの解消
- ・全国よりも低い居住地の「医療・福祉」への満足度(64%)、「地域コミュニティ」への満足度(70%)の向上

⑦四国圏の魅力・豊富な地域資源を活かした観光活性化

- ・お遍路文化や歴史文化遺産の活用促進
- ・アジアの活力を取り込むための滞在人口の拡大
- ・外国人観光客は増加傾向にあるものの未だ低い四国圏の認知度、低い全国シェア向上

⑧圏域内外との交流を促進し対流を促す結びつきの強化

- ・弱い圏域内外との連携や交流の強化
- ・日本海側と瀬戸内海側と太平洋側の連携の強化
- ・全国よりも低い「交通利便性」の満足度(51%)の向上
- ・対流基盤となる高速道路網整備の遅れの解消

第2章 四国圏の将来像

2-1. 基本方針

キャッチフレーズ . . .

(現行計画) 癒やしと輝く産業・ひとを育てる四国の創造

【基本方針の具体的な考え方】

- ・ 四国圏は瀬戸内海や太平洋といった美しい海に四方を囲まれ、また、緑豊かな山々や美しい清流を有するなど、素晴らしい自然環境に恵まれておりその恩恵の享受。
- ・ 中山間地域、半島部、島しょ部では「小さな拠点」の形成などによる地域の維持・活性化の推進。
- ・ 圏域全体では、南海トラフ地震等の大規模自然災害に備え、安全・安心を確保し生命・財産を守る粘り強くしなやかな地域づくりの推進。
- ・ 地域資源の活用や地場産業の活性化による働く場の創出や、子育て環境の充実などにより、若者、女性が活躍し、高齢者の社会参画が盛んな、豊かなふるさとの形成。
- ・ 圏域に暮らす全ての人々が、四国に住み続けたいと思い、また、圏域の外に暮らす人々が行ってみたい、住んでみたいと思える地域の実現。

⇒これらの取組みを通じて、多様な地域の個性を発揮しつつ、四国圏としての一体的・自立的発展を目指す

2-2. 四国圏の発展に向けた目標

①南海トラフ地震への対応力の強化など、安全で安心して暮らせる四国 ～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～

- 1) 南海トラフ地震に対する安心・安全を確保する
- 2) 豪雨・台風・濁水等の自然災害に備えるとともに、地球環境との調和を高める
- 3) 地域の暮らしを支えるインフラの老朽化対策を推進する
- 4) 地域の暮らしの快適性を高める

②若者が増え、女性・高齢者が生き生きと活躍する四国 ～多様な人材が能力を発揮できる社会を実現～

- 1) 仕事と子育てを両立できる環境を整備し女性の社会参画を促進する
- 2) 若者の雇用の場を確保し、地域企業への就職・定着を図る
- 3) 元気な高齢者が知識・経験・技術を活かし、社会参画を促進する

③地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

～グローバル化を生き抜く産業群の形成～

- 1) 地域資源や技術を活かし、アジアを始め世界に通用する産業競争力を強化する
- 2) 技術力や特産品を国内外へ売り込み、新たな市場を切り拓く
- 3) 産業の成長力を支える人材を育成・確保する
- 4) 物流基盤機能強化のためのインフラ整備を促進する

④中山間地域・半島部・島しょ部や都市が補完しあい活力あふれる四国

～農山漁村と都市の共生～

- 1) ICTで農山漁村の生活環境を整備大都市から人を呼び活性化する
- 2) 個性ある地域をネットワークで連携し『コンパ^o外+ネットワーク』を実現する
- 3) 農山漁村の基幹産業の強化を図り、雇用を創出する

⑤歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～

- 1) 美しい風土と地域資源を活かし地域の魅力を高め、国内外に向けて発信する
- 2) 歴史・文化的資源、美しい自然、ふるさとの風景を継承し、地域の独自性を発揮する
- 3) 圏域内外、アジアなど国外との交流推進により観光を活性化する

第3部 四国圏の発展に向けた取組

①南海トラフ地震への対応力の強化など、安全で安心して暮らせる四国

～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～

(1) 南海トラフ地震に対する安心・安全を確保する

- ・南海トラフ地震等大規模災害発生時における被害の抑制と迅速な復旧
- ・災害時の交通・情報通信ネットワーク強化
- ・減災に向けた地域との相互連携と住民一人一人の防災に対する意識の向上
- ・広域的な応援体制の構築
- ・事前防災・減災対策に向けたインフラ整備の推進
- ・早期復興にも寄与する最新の免震・制震技術を結集した高速鉄道網の形成

(2) 豪雨・台風・渇水等の自然災害に備えるとともに、地球環境との調和を高める

- ・災害に強い森林づくりを通じて「緑の国土強靱化」を推進
- ・失われつつある自然との共生
- ・森林、農地、河川流域の適切な整備・保全と水資源の確保
- ・人間活動と自然のプロセスが調和した物質循環の構築
- ・自然と地球にやさしい環境保全活動・環境教育の推進
- ・事前防災・減災対策に向けたインフラ整備の推進

(3) 地域の暮らしを支えるインフラの老朽化対策の推進

- ・橋梁、トンネルが安全利用できるよう、計画的な定期点検で状態を把握
- ・早期の損傷発見、補修の実施により、安全で安心な道路サービスを提供
- ・ライフサイクルコストの縮減
- ・技術力向上を目的とした橋梁保全研修・セミナーの開催

(4) 地域の暮らしの快適性を高める

- ・安全・安心で快適な生活環境づくり
- ・地域づくりの担い手の育成と多様な主体が参加できる仕組みづくり

②若者が増え、女性・高齢者が生き生きと活躍する四国

～多様な人材が能力を発揮できる社会を実現～

(1) 仕事と子育てを両立できる環境を整備し女性の社会参画を促進

- ・仕事と子育ての両立できる環境を整備
- ・女性が働きやすい環境を整備することで、女性の社会参画を促進

(2) 若者の雇用の場を確保し、地域企業への就職・定着を図る

- ・学校とハローワークの連携による雇用のミスマッチ解消
- ・学生と中小企業を有効に結びつけるための就職支援

(3) 元気な高齢者が知識・経験・技術を活かし、社会参画を促進する

- ・元気な高齢者の知識、経験、技術を活かす
- ・高齢者の社会参画を促進

③地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

～グローバル化を生き抜く産業群の形成～

(1) 地域資源や技術を活かし、アジアを始め世界に通用する産業競争力を強化する

- ・ グローバルな競争にも勝ち抜ける力強いものづくり産業を再興
- ・ 四国圏の持続的な成長の糧となる新たな産業の創出や起業・創業等を促進
- ・ 産学官連携等によりイノベーションを促進
- ・ 競争力を高め、職業として魅力を感じる農林水産業を確立
- ・ 四国産品や観光資源を多くの人々を惹きつけるものに磨き上げる

(2) 技術力や特産品を国内外へ売り込み、新たな市場を切り拓く

- ・ ものづくりの高い技術力等を国内・海外に売り込む
- ・ 多くの人々を惹きつける四国産品や観光資源を国内・海外に売り込む
- ・ 成長著しい海外の活力を積極的に取り込む

(3) 産業の成長力を支える人材を育成・確保する

- ・ 学びの場を創り出し、四国圏の産業の成長を支える多様な人材を育成
- ・ 四国圏の活力となる人材を呼び込む
- ・ 多様な人材の活躍を促進
- ・ 大学の充実強化を図り、産業人材の育成や産業競争力の強化などを促進

(4) 物流基盤機能強化のためのインフラ整備の促進

- ・ 道路、鉄道、空港、港湾、情報通信基盤等の産業インフラ等の整備、利活用を促進
- ・ 安心して事業活動を進め、競争力を強化していくうえでも欠かせない南海トラフ地震・津波に強いインフラの整備を推進

④ 中山間地域・半島部・島しょ部や都市が補完しあい活力あふれる四国

～農山漁村と都市の共生～

(1) ICTで農山漁村の生活環境を整備、大都市から人を呼び活性化する

- ・ ICT活用することで、農山漁村の生活環境の整備を推進
- ・ 安心して暮らしやすい農山漁村の形成（日常生活の利便性向上）
- ・ 大都市から人を呼びよせることで、農山漁村の活性化を図る

(2) 個性ある地域をネットワークで連携し『コンパクト+ネットワーク』を実現する

- ・ 地域間をネットワークで結び、都市間の連携を図る

- ・コンパクト+ネットワークで拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現
- ・基幹集落に暮らしの安心を支える複数の生活サービスや地域活動の場を集めた「小さな拠点」を核とし、中山間地域の維持・活性化を図るための仕組みづくりの推進

(3) 農山漁村の基幹産業の強化を図り、雇用を創出する

- ・農山漁村の基幹産業である農林水産業の強化
- ・雇用を創出することで、農山漁村の活性化を図る
- ・公共建築物の木造化等による新たな木材需要の創出
- ・需要者ニーズに対応した国産材の安定供給体制の構築
- ・農林水産業に対する野生鳥獣被害対策の推進

⑤歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国
～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～

(1) 美しい風土と地域資源を活かし地域の魅力を高め、国内外に向けて発信する

- ・一次産品を用いた四国ブランドの育成など、地域資源の魅力を向上
- ・地域の魅力を積極的に国内外へ発信

(2) 歴史・文化的資源、美しい自然、ふるさとの風景を継承し地域の独自性を発揮する

- ・四国独自の文化を保全・継承するための人材育成
- ・美しい自然を舞台とした地域独自の風景づくり

(3) 圏域内外、アジアなど国外との交流推進により観光を活性化する

- ・各都市の魅力向上と相互連携の強化により圏域内の交流を促進
- ・ネットワークの強化により、全国との交流を促進、
- ・国際ゲートウェイ機能の強化による国外との交流促進

第4部 広域プロジェクト

①南海トラフ地震をはじめとする大規模自然災害への「支国」防災力向上プロジェクト

■ 安全・安心に暮らせる災害に強い圏域の形成

- ・南海トラフ地震への対応力の強化により、安全で安心して暮らせる四国圏を実現

する。

- ・ 近年の気候変動により激甚化する自然災害に備え、災害による被害から生命や財産を守り、安全・安心を確保する。

■ 地域の暮らしを支えるインフラの老朽化対策の推進

- ・ 加速するインフラ老朽化への対策としての予防保全の実施、戦略的メンテナンスによる安全確保を実現する

(1) 南海トラフ地震に対する安心・安全を確保

(2) 豪雨・台風・渇水等の自然災害に備える

(3) 暮らしを支えるインフラ老朽化対策の推進

②全国に先駆けて進行する人口減少への「子国」支援対策プロジェクト

■ きめ細かな情報提供や相談対応などの移住支援策により、圏域外からの移住者を増加させ、地域や経済の活性化を図る

- ・ 都会に比べ住みやすく働きやすい環境に恵まれた四国圏の特色を大々的にPRし、移住希望者の候補地になることを目指す。
- ・ 移住希望者への移住実現に向けた具体的な支援を積極的に行い、移住の定着化を目指す。

■ 子育てのしやすい仕組みや、少子化・高齢化に合わせた仕組みを構築することで、魅力あふれる『住みたい四国』の形成を図る

- ・ 医療・福祉等サービス体制の整備と子育て等の支援の充実による暮らしの快適性を高め、住みやすい、住みたくなる地域を目指す。
- ・ 移住者定着に向けた働く場づくりによる地域資源となる人材の確保など、活力・魅力があふれる地域の形成を目指す。

(1) 人口減少対策としての移住促進

(2) 子育て支援制度の充実

(3) 少子化・高齢化への対応策の強化

③お遍路や四国八十八景を中心とした「視国」観光活性化プロジェクト

■ 四国霊場八十八箇所と遍路文化を有する圏域の魅力と、「美しい風景」の魅力を国内外へ発信

- ・ 歴史の中で培われてきた「遍路文化」を四国共通の文化・アイデンティティとし、国内外へ発信することで、四国圏への来訪者の増加を図る。
 - ・ 魅力ある「四国八十八景」の保全・創出を図り、四国圏への観光客増加と地域活性化の実現を図る。
- 4県連携による「自転車」を軸とした新たな魅力、美しい瀬戸内海を背景とした「芸術」の魅力を国内外へ発信
- ・ 四国島内の周遊サイクリングルートの整備や、全国的な自転車イベントを呼び込むことで、国内外からのサイクリストを呼び込む。
 - ・ 瀬戸内の島々に点在する多様な歴史・文化遺産、美術館・博物館等の魅力を「芸術」を軸として高めることで、島々の活性化を図る。

- (1) 遍路文化を核とした四国霊場八十八箇所の魅力発信
- (2) 「自転車」「芸術」を軸とした連携による魅力発信
- (3) 美しい風景で四国圏への来訪者を倍増

第5部 計画の推進に向けて

- ・ 計画の進行管理
- ・ 他圏域との連携